

11	英和対訳辞書		
	K012-75	明治5(1872)	荒井郁之助編
	北海道の開拓使仮学校の生徒のために編集された英和辞典。「開拓使辞書」の名前がある。内容は「薩摩辞書」をほぼそのまま復刻したものである。		

- ◆ 編者の荒井郁之助(1836-1909)は、明治5年(1872)4月に創設された開拓使仮学校(北海道大学の前身)の校長を務めた旧幕臣である。本書は開拓使仮学校で学ぶ生徒に配布するのを目的としてつくられ、そのために「開拓使辞書」と呼ばれた。標題紙には「開拓使」の文字が明記されている。

本書の内容は、「薩摩辞書」の第2版『大正増補和訳英辞林』(明治4年)のほぼそのままの復刻である。ただし、「薩摩辞書」の形態が洋装縦長であるのに対し、本書は『英和対訳袖珍辞書』(開成所辞書)当時の枕辞書の形態に戻った。増補といえる点は、各丁ごとにつけられた検索を容易にする見出しと、巻末付録に13丁にわたる「諸元素名称及其略称表訳」が加わっていることにある。これは化学物質、鉱物等を集めた英和対訳の語彙集である。その一部には化学式も記されている。

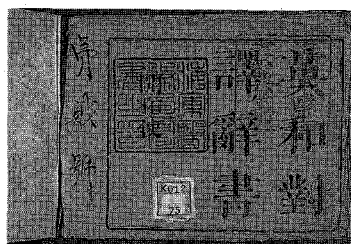
- ◆ 当館は本書を2部所蔵している。うち1部には「海軍鑒察典籍」「海軍医務局図書之印」の印記がある。

12	和英語林集成(復刻版)		
	830.3-108, 830.3-109		J.C.Hepburn編
	幕末に来日したアメリカ人宣教師ヘボン(平文)の編集による我が国最初の和英辞典。近代日本語の資料としても重要な価値をもつ。		

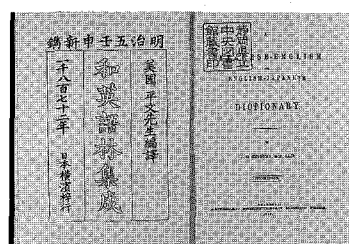
- ◆ 慶応3年(1867)初版発行。初版の英文タイトルは“A Japanese and English Dictionary; with an English and Japanese Index”である。見出しは、ローマ字表記の日本語で、カタカナ表記と漢字表記が添えられている。その後が続いて英語の説明と用例、同義語が示されている。さらに、巻末には「英和」の部がついている。本書は発行とともに世に広く迎えられた。この好評に応じて、ヘボン(J.C Hepburn 1815-1911)は、その内容を大幅に改訂・増補した再版を明治5年(1872)に刊行し、さらに明治19年には再び全面改訂した第3版を刊行した。第3版では、明治18年に創立された羅馬字会が決定した「羅馬字にて日本語の書き方」に従っている。これが、いわゆる「ヘボン式ローマ字」である。本書は明治期を通じて英学生に愛用されたが、英語で書かれた国語辞典として幕末・明治前期の日本語の姿を記録している資料としても貴重である。ヘボンは、幕末最初に来日した米国人宣教師(医師でもある)の一人であり、医療、布教活動の傍ら日本語研究を続けた。その集大成が『和英語林集成』である。

- ◆ 当館所蔵は第2版、第3版の復刻版(それぞれ830.3-108, 830.3-109)である。

＜参考資料＞ 『日本英学史の研究』(830.1-100) 『洋学資料と近代日本語の研究』(810.1-103)
『和英語林集成』の解題部分



11 英和対訳辞書



12 和英語林集成(復刻版)